

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		清水 肇	所 属	工学部 環境建設工学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.25	専門教育、共通教育の授業を、学生との意見交換方法などを改善し効果的に実施する。		0.20	「生活空間の計画」、「環境の保全」、「住まいの科学」、「コミュニティ空間計画」、「都市計画」、「住空間計画」他の授業を担当した。とくに「住空間計画」では、基礎的な演習において複数回の学生との検討を行う過程を重視し、授業の内容を改善した。	
研究	0.20	生活空間関連研究を進め、学会および学会誌にて発表を行う。		0.20	日本建築学会住宅の地方性小委員会主催の研究会を実施し、これを契機として学会における発表での討論を経て年末に合同研究企画を沖縄で実施した。	
社会貢献	0.15	那覇市景観審議会他の自治体委員の職を通じて地域のまちづくりに貢献する。 学童保育施設整備に関わる施策への関与により沖縄県内の学童保育の改善に貢献する。		0.20	那覇市景観審議会、糸満市風景づくり計画策定委員会他の自治体関連の職務を多数担い、それぞれの委員会における成果を得た。 学童保育施設についての新しいガイドラインの策定に貢献した。	
管理運営	0.35	環境建設工学科学科長、環境建設工学専攻主任として学科運営を円滑に行い、研究・教育条件やスタッフ整備の課題についての改善を進める。		0.30	環境建設工学科学科長、環境建設工学専攻主任として、多量の業務を円滑に統括した。	
進路指導	0.05	研究指導を行う学生との懇談と指導を十分に行い、卒業までに各自の進路が明確になるようにする。		0.10	研究室において各学生の進路選択を支援し、全学生の進路を方向づけることができた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		堤 純一郎		所 属		工学部 環境建設工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.25	研究室の学生に対してセミナー等を通して定期的な指導を確実に行う。担当授業科目をシラバスに沿ってしっかり進め、その成果を確認する。大学院生には学会等の研究発表の機会を最大限に利用させる。建築コースのカリキュラム改訂を推進する。工学部の年間FD計画を作り、実行する。				0.24	毎週1回または2回のセミナーを行い、卒論生7名、大学院修了予定4名を無事にすべて卒業及び修了まで導くことができた。担当する授業科目はシラバスにそってほぼ完全に講義できた。建築コースに初年度教育を導入するカリキュラム改訂を行った。工学部FDをEFDと命名し、ほぼ毎月実施した。				
研究	0.25	沖縄型のスマートハウスに関する研究を進め、その設計と評価のガイドラインを作成する。中城村との包括協定に関わる冷熱の研究を推進する。これらの研究テーマにより確実に外部資金を獲得する。成果を研究論文として発表する。				0.22	沖縄型住宅の環境認証システムに取り組み、自然エネルギーのパッシブポテンシャルやスマートハウス等の研究を遂行し、現在、それをガイドラインとしてまとめている。中城村との包括協定によるLNG冷熱の利用促進に関わる研究を推進し、配送型地域熱供給事業の可能性を明らかにした。				
社会 貢献	0.18	各研究テーマの成果の公開を通じて、地元産業界に新しい事業の創出を促す。2つの公開授業を通して、一般の地域の人々への環境知識の普及に努める。自治体等における審議委員等を学識を活かして確実に務める。				0.20	中城村との連携は発表会等を開催して、成果の地元還元に一歩近づいた。その他、多数の技術相談や共同研究に関する話題を受けた。公開授業は数名の一般受講者を受入れ、2科目を完全に実施し、受講者の評価も良好であった。沖縄県、総合事務局、市町村等の多数の委員会、審議会を務めた。				
管理 運営	0.20	工学部評議員、副学部長として、工学部のミッション再定義に尽力するとともに、COC等の全学的または学部単位の事業に取り組む。認証評価に向けて、工学部としての方針を決め、それを推進する。全学的なEA21の認証に関する諸事業を確実に推進する。				0.20	工学部評議員として大学全体の評議に関わり、大学の基本方針に関わる議論等を行い、工学部としての意見を明確に伝えた。副学部長として工学部の運営管理に深く関わり、教育分野や自己評価等において重要な決定事項を多数審議した。エコキャンパス委員会の副委員長として、EA21の方針転換等に尽力した。				
進路 指導	0.12	建築コース主任、就職担当として、卒業修了者の進路指導を確実にを行い、その後の進路状況を把握する。				0.14	自己の研究室に所属する学生はもちろん、建築コースの就職担当教員として、建築コース卒業生全体の進路指導を綿密に行い、学生への推薦状の発行等を通じて就職活動を支援した。また、大学院進学率を促進すべく、卒業予定者に対して進学を奨める懇談等を行ったが、これに関しては十分な成果となっていない。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		小倉 暢之	所 属	工学部 環境建設工学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	学部及び大学院における建築計画学関連諸科目を担当し、学習意欲の向上を図る。演習では積極的にTAを活用し、きめ細かな指導体制を形成し、学生の意見聴取及び学習相談を行う。		0.35	学部及び大学院における学生授業評価ではTAの積極的活用により良好な評価を得る事ができた。また、ゼミでは学部生8名、院生前期課程1名、後期課程3名の研究指導を行った。さらに海外協定校との学生交流をタイ・キングモンクット工科大学建築学部の学生4名を2ヶ月間研修生として受入れて行った。	
研究	0.30	大学院生と共に研究した成果を国内外の論文に投稿する。また、国際交流協定締結校との研究交流を推進する。科研費(海外B)に応募する。		0.25	大学院博士後期課程院生と共に日本建築学会論文集や国際ジャーナルに投稿し、掲載された。また、国際交流協定締結校との研究交流推進では、コンケン大学チュムナン副学長と都市住宅に関する調査研究を行った。科研費申請では海外Bに申請した。	
社会貢献	0.10	日本建築学会沖縄支所評議員、那覇市建築審査会会長等の各種委員として県内建築関係者及び市民に活動を通して社会貢献する。		0.10	日本建築学会沖縄支所評議員、那覇市建築審査会会長の他、建築士会沖縄支部常任理事として各種公共建築設計競技の審査員長として広く社会に貢献した。	
管理運営	0.20	副学部長の他に各種学内委員を務め学内の管理運営に寄与する。		0.20	副学部長として、国際交流を担当し、学部長を補佐した。また、学内では国際交流員、企画戦略会議委員、次期特別プログラム申請書作成等、多様な業務を担当した。	
進路指導	0.10	2年次学年担当、及び研究室大学院生の指導教員として進路に関する相談指導を行う。		0.10	学生の進学指導、就職支援及び求人希望会社の対応等に対応し、就職希望学生の就職を決めた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		渡嘉敷 健	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	学部の授業、建築設備計画において、昨年度も実施して来た建築設備等の施設見学を行い授業の内容を具体化して学生の理解力を高めたい。建築環境工学演習においても既設のホールの残響時間の測定実験を行いこれまでに得られた研究成果を生かした具体的な実験実習を行っていききたい。大学院の環境騒音特論では研究の環境騒音の調査を授業に取り入れたい。		0.25	学部授業の建築設備計画で施設見学を行った。法文学部人文社会総合研究棟の建築設備全般について施設部の方に説明をお願いして学生からの質問にも答えて頂いた。沖縄電力牧港火力発電所の施設見学で発電の系統の説明をして頂いた。北谷浄水場と海水淡水化センター見学を行った。後日レポートにて感想を述べさせた。学生は実体験が出来たことで理解を深めた。音響実験については新しく完成した残響室無響室ないで残響時間の長さを体感した。大学院の環境騒音特論では大学構内の環境騒音の調査を授業に取り入れた。
研究	0.30	音響材料開発及び遮音構法として産学連携としての技術提供を行い社会貢献を行いたい、さらに外部資金の獲得につなげられるように努力したい。現在行っている航空機騒音の主観評価調査を進めさらにデータ収集を行い研究を発展させて行きたい。国際会議、インターノイズに論文を提出し、発表を行いたい。学会活動として日本音響学科九州支部評議員2年目として貢献したい。		0.30	音響材料開発及び遮音構法として産学連携として沖縄の産業まつりで調湿材料を吸音内装材量に使用することのメリットを紹介した。航空機騒音の低周波音調査データを新聞に提供したことで住民にも理解が得られた。測定器メーカーからも測定器の寄贈があった。音響学の国際会議が2014年国内で行われるのに発表するためi-noiseは取りやめた。学会活動として日本音響学科九州支部評議員2年間行った。
社会貢献	0.25	研究調査で行っている学校施設の音環境調査が新聞報道に公表された事を受けて実施される音響調査に専門家としての技術支援を行いたい。学生実験で行っている既設のホールの残響時間測定データを提供して音響改善のための技術支援を行いたい。行政の委員会に貢献した。沖縄リハビリテーション福祉学院における非常勤講師として教育支援を行う。		0.25	学校施設の音環境調査が新聞報道に公表された事を受けて各自治体からの音響調査に専門家としての技術支援を行った。米軍の新型ヘリコプターの低周波音問題で全国を含め各地で学習会を20程度行った。学生実験で行っている既設のホールの残響時間測定データを提供して音響改善のための技術支援を行った。おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院における非常勤講師として教育支援を行った。沖縄県建築審査会長として委員会を2回行った。那覇市の文化振興専門委員として新市民会館の会議に参加した。
管理運営	0.15	工学部と沖縄工業高専との研究を推進する委員会活動を昨年度行い研究交流を実施した、さらに今年度も継続して研究交流に貢献したい。日韓留学生事業の委員としてソウルに行き琉球大学のPR活動を行った経験を今年度の活動に生かせるように努力したい。建築コースでのJABEE取得に向けての活動に協力して行きたい。		0.15	工学部と沖縄工業高専との研究を推進する委員会活動が3年目で今回も私の研究室の学生5名の研究交流を実施した。大学のオープンキャンパスにおいて残響室無響室内で実験を体験してもらった。建築コースでのJABEE取得に向けての活動に建築のコース会議で議論している状況である。今後具体化していく中で協力して行きたい。
進路指導	0.05	これまでの就職担当教員の経験を活かし、また授業等では施設見学を通して得られる経験を学生の就職支援に役立てて行けるように取り組みたい。学科同窓会の協力を得て就職説明会を開催できるように努力したい。例年実施している高校訪問の業務をサポートしたい。		0.05	学部学生及び大学院生の就職活動のことも考え、講義の中で、専門性を生かした就職状況等のビデを等の説明を行い就職への啓発を行った。学生からの評判も良く、学生達の就職活動に生かしてもらいたいと考えている。学科同窓会の起業者の体験セミナーのDVDを就職説明に活用した。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		入江 徹	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	建築計画系科目、建築設計製図科目を担当し、学生に国内外の建築に関する最新情報を提供しつつ講義を行う。		0.30	建築計画系科目、建築設計製図の中で、学生に国内外の建築に関する最新情報を提供しつつ講義を行った。その成果発表として、「合同設計発表会」を開催した。
研究	0.30	建築における最先端デザインの探求を実験的に行っていく。		0.30	多くの現代建築の視察を行い、建築における最先端デザインの探求に務めた。
社会貢献	0.15	「全国大学・高専卒業設計展示会」の展示をすることで、学外からも多くの見学者を学内に招き社会貢献を行う。		0.15	「全国大学・高専卒業設計展示会」の展示を行い、多くの見学者を招いた。
管理運営	0.15	教育委員・時間割担当として業務に従事する。		0.15	教育委員として業務に従事した(今年度は時間割担当ではありませんでした)。また、建築設計製図室において、課題ごとの清掃を指示するなど環境管理に努めた。
進路指導	0.10	学生が卒業後の進路について検討しやすいよう情報を提供し、相談にのったり指導を行う。		0.10	学生の卒業後の進路相談に対し、情報の提供や準備しておくことなどについて指導を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安藤 徹哉	所 属		工学部 環境建設工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果			
教育	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・部局の目標に適合した教育目標の設定 ・授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善 ・研究業績の授業への反映 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・・・目標に応じた授業を行うことができた。 			
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌への投稿、発表 ・著書の出版準備(ハワイ大学出版会) 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・・・学会論文1編を投稿することができた。 			
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学外の審議会、委員会等への参画 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・・・各種委員会において積極的に発言した。 			
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的委員会での貢献 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・・・施設環境、留学生、及び学生指導関連の委員会において積極的に発言した。 			
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・進学指導、就職支援のための具体的取り組み 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・・・積極的に学生の指導にあたった。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		仲松 亮	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	講義では基礎的部分の理解が疎かにならないよう講義内容を工夫する。昨年度の教育内容の分析・改善を行い、実習や演習では学生が講義で学んだことをより深く理解出来るように内容を計画して実施する。オフィスアワーを積極的に利用してもらい、学生の学習を助ける。		0.35	昨年度の結果に基づき教育内容の刷新、改善を行った。実習や演習については実験方法や機器の取り扱いだけでなく、今後の知識修得の助けになるような体験学習的内容を多くした。講義については学生に基礎的知識の再確認を促すことに時間を割いたため、専門的内容はやや低下してしまった。
研究	0.40	これまで行ってきた研究開発をもとにしたテーマについて研究を行う。昨年度得られた研究データを成果としてまとめる。専門知識、また関連する知識の向上に努める。		0.35	バングラデシュのゴミや水に関する環境問題について調査を行った。国立公共建築の快適性に関する温熱環境調査、スーパーマーケット内に発生するカビに関する調査を行った。昨年度得られた研究データをまとめ建築学会大会で発表した。専門知識、また関連する知識および技術の向上に努めた。
社会貢献	0.10	環境・廃棄物関連の特定非営利団体に協力する。県内自治体の環境行政に専門的な立場から協力する。		0.05	新設予定の産業廃棄物管理型最終処分場について、建設候補地域の住民へ正しい環境知識を提供するNPOの活動に協力した。
管理運営	0.10	各種委員会の委員を担当することで管理運営に参加・協力する。環境建設工学科の公式HPの更新・刷新を検討する。		0.15	学科レク係として工学部忘年会の開催に協力した。安全衛生委員会委員として学科施設の安全衛生面の向上、維持に努めた。また工学部の安全衛生マニュアルの改訂作業に参加、安全衛生マニュアルの表紙デザイン等を担当した。学科公式HPの更新・刷新については来年に持ち越し。
進路指導	0.10	円滑な進路指導が行われるように指導教員のサポート、学生に関連情報の提供を行う。		0.10	担当教員のサポートを行い、進路について相談しやすい雰囲気作りに務めた。また、学生に対して就職説明会の開催日時等の周知、就職活動の進捗確認などを行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		小野 尋子		所 属		工学部 環境建設工学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.35	新規専任の「都市デザイン演習」の進め方や、アウトプットのあり方などについて検討する。また後期の都市計画法制など外部と行っている科目のあり方も検討する。				0.35	「都市デザイン演習」では、旭橋再開発株式会社と協力し、事業中の第一種市街地再開発事業について、調査を踏まえて提案を行う講義を行った。次年度以降も関係が続けていくことが求められ、また、学生の授業満足度も高かったことから、内外から一定の評価を得るプログラムとすることができた。				
研究	0.30	科学技術調査として採択された課題に対し、精力的にかつ適切に進めていく。				0.30	2月に査読付き論文の投稿(AA論文)、現在科研関連論文の投稿準備中にある。また、科研採択テーマに関連して、建築学会研究小委員会住宅の地方性研究会での報告(2013/5)としまたて協会主催技術報告会での講演(2013/10)を実施した。				
社会貢献	0.20	都市再開発や基地跡地利用など、県内の実際の取り組みと連動するかたちで研究・教育をすすめる、成果を還元する。また各種学識委員会、審議会の務めを果たす。				0.25	各種審議会委員及び会長・副会長の実施、再開発事業に関わる周辺住民向けワークショップの開催と事業提案、地主会・市役所等との基地跡地の主催勉強会の継続などを精力的におこなった。				
管理運営	0.10	自己評価委員会、男女共同参画委員会などの学内委員の職務を行う。				0.05	卒業生評価、修了性評価の実施を行った。全学男女共同参画委員会にも参加し、また附属中学校での出前講座キャリア形成にも講師として参加した。				
進路指導	0.05	研究室学生の就職活動、キャリア形成の助言や指導に務める。				0.05	研究室学生の進路相談に複数回乗り、推薦書等の作成を行った。また全学施設「うない研究者支援センター」が発行する女性のキャリア形成についての助言した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		森下 陽一	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・TAを有効活用した演習科目の充実による構造力学の理解度の改善を図る。 ・耐震補強、耐震診断などの研究成果の講義への反映を図る。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の講義科目「建築構造力学Ⅲ」では、演習を充実させ、学生の理解度は改善された。また、後期の科目「地震と防災」においては、PPの有効活用で、学生の理解度は向上した。 ・その他の科目で「防災工学概論」については、現在進行中の耐震診断、耐震補強の研究成果を取り入れた講義を行い、学生の関心を得られたと思われる。
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会大会学術講演会および日本コンクリート工学協会研究発表会への論文投稿と発表を行う。 ・RC構造部材およびCB構造の耐震補強に関する研究および調査を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行中のRC構造部材の耐震補強に関する研究成果を、日本建築学会および日本コンクリート工学協会のそれぞれの発表会に投稿し、発表を行った。 ・九州各県の耐震診断結果の取りまとめの作業は終了し、現在沖縄県で進行中の耐震診断結果を追加して取りまとめ中である。
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・建築学会九州支部の常議員として活動する。 ・沖縄県の既存RC建物の耐震診断審査会の委員として耐震診断を行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の公共建築物30棟程度の耐震診断を行い、その耐震性能を判定した。また、その資料の取りまとめを行っている。 ・建築学会九州支部の常議員として活動し、年6回の役員会に出席、また国際シンポジウムの司会を行った。
管理 運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の指導教員として修学指導を行う。 ・施設整備に関わる総合評価審査への取り組みを行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に関する総合評価審査の作業を、延べ4回にわたって行い、評価の判定を行った。 ・1年生の指導教員として修学指導を行い、また、学生の交通事故及び不正行為の処理などに活動した。
進路 指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究および大学院学生の指導教員として、修学指導、進路指導および生活指導を行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究および大学院学生の指導教員として、個別の修学指導、特に外国人留学生に対する修学指導などを行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		仲座 栄三		所 属		工学部 環境建設工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	単位の実質化が保証され、学生から評価される授業を行う。				0.30	学生の授業評価では、高く評価されている。例えば、今回の講義を通して、力学を学ぶ楽しさを知った。この授業を受けて物理の本当の楽しさが分かった。専門にとどまらず、人生という物を少し感じた。良い授業であった。など、多くの良いとする評価を受けている。				
研究	0.30	防災工学及び海岸工学を中心とし、独創的な研究を推進する。				0.30	防災研究センターを拠点として、環境適合型の防災研究を行った。これらの成果は、海岸工学論文集、海洋開発論文集に発表された。さらに、全国規模学会にて学生の発表も行われた。地域の技術者を対象としたシンポジウム等でも発表された。				
社会貢献	0.15	産学連携機構長として産学連携活動を進める。				0.15	産学官連携推進機構長として、産学官連携の活動を進めた。全国規模のJST新技術発表会をはじめとして、3つの技術発表会へ参加し、琉球大学の知財の広報を行った。沖縄産業まつりへの出展も行った。産学官連携の活性化のために、沖縄県産業公社及び立地センターとの包括連携の協定締結も進めている。				
管理運営	0.20	副学長として、IT・防災・産学連携に関する運営を進める。				0.20	副学長として、IT・防災・産学官連携活動を行った。ITについては、全学情報セキュリティを高めるために、全学FDを実施すると共に、全国情報セキュリティCOI会議に参加した。全学防災訓練を実施し東部消防より良の評価を得た。全学防災備品の備蓄を整えた。産学官連携については、上記のとおり。				
進路指導	0.05	研究室の学生を中心とし、学生の就職活動を助ける				0.05	研究室所属学生全員の就職及び進学を達成した。博士学生、修士学生に対するキャリア指導も行い、研究成果を生かした職種への応募を進めている。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	原 久夫		所 属	工学部 環境建設工学科	
職 名	准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.45	修士学生及び卒業研究学生指導, 確率及び統計, 土工学概論, 測量学 I, 土質工学実験A, 土質力学 I 及び演習, 土質力学 II 及び演習, 地盤工学, 土木セミナー, シビルエンジニアリング, 土質力学特論の講義を実施する。 JABEEプログラム教育委員会における改善WGを担当する。		0.40	修士学生及び卒業研究学生指導, 確率及び統計, 土工学概論, 測量学 I, 土質工学実験A, 土質力学 I 及び演習, 土質力学 II 及び演習, 地盤工学, 土木セミナー, シビルエンジニアリング, 土質力学特論の講義を実施した。 JABEEプログラム教育委員会における改善WGを担当した。
研究	0.40	圧密沈下解析法, 赤土流出防止技術の開発, 不飽和地盤内浸透流, 地滑り防止を目的とした地盤内調査法の開発に関する研究を実施する。 地盤情報DBの防災および地盤環境への活用に関する地盤工学会研究委員会委員として, 沖縄県における地盤情報の利活用に関する研究を行う。		0.40	圧密沈下解析法, 赤土流出防止技術の開発に関する研究を実施した。 地盤情報DBの防災および地盤環境への活用に関する地盤工学会研究委員会委員として, 沖縄県における地盤情報の利活用に関する研究を行った。
社会貢献	0.05	沖縄県公共事業評価監視委員会委員長, 沖縄総合事務局開発建設部建設コンサルタント業務審査委員会委員長, その他委員会委員(4)などの公共性の高い委員会に出席し, 専門知識を社会に還元貢献する。 九州支部沖縄地区沖縄地盤工学研究会会長として活動する。		0.10	沖縄県公共事業評価監視委員会委員長, 沖縄総合事務局開発建設部建設コンサルタント業務審査委員会委員長, その他委員会委員(6)などの公共性の高い委員会に出席し, 専門知識を社会に還元貢献した。 九州支部沖縄地区沖縄地盤工学研究会会長として活動した。
管理運営	0.02	工学部予算配分委員, 工学部の運営に取り組む。		0.05	工学部予算配分委員, 環境建設工学科土木コース主任として工学部, 学科の運営に取り組んだ。
進路指導	0.08	環境建設工学科土木コース3年次学生の指導教員として, 学生の修学		0.05	環境建設工学科土木コース3年次学生の指導教員として, 学生の修学, 進学, 就職指導を実施した。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		入部 綱清	所 属	工学部 環境建設工学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	JABEEに沿った教育によって、学生から評価の高い授業を行う。		0.30	JABEEに沿った教育によって、学生から評価の高い授業を行うことができた。	
研究	0.40	環境・防災をテーマに数値計算を中心とした応用研究を行う。		0.40	環境・防災をテーマに数値計算を中心とした応用研究を行うことができた。	
社会貢献	0.10	環境・防災研究を通じて社会貢献に努める。		0.10	環境・防災研究を通じて社会貢献に努めることができた。	
管理運営	0.10	工学部交通指導委員会として、工学部及び学科の交通指導に努める。		0.10	工学部交通指導委員会として、工学部及び学科の交通指導に努めることができた。	
進路指導	0.10	学生の進路相談や就職のサポートを行う。		0.10	学生の進路相談や就職のサポートを行うことができた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		松原 仁	所 属		工学部 環境建設工学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	最新の研究成果を取り入れた授業を実施することで、学問の多様性や奥深さを認識・習得させる。特に、学際的な視点から物事を捉える力を涵養する。			0.30	Science, Nature, ESPL等の著名な科学技術ジャーナルを用いたセミナーを実施することができた。また、要所にこれらの資料を入れ込んだ講義を実施することができた。		
研究	0.40	科研費をベースにして、多孔質岩の破壊力学挙動や地すべり等の地盤防災に関わる計算力学的な研究を進める。同時に、知識交流を深めるために、他組織との共同研究を実施する。研究成果は国内外の学術誌や学術講演会等にて積極的に発表する。			0.40	著書:1(英語), 査読付論文:5(日本語:1, 英語:4), 国際会議プロシーディングス:2, 国内口頭発表論文:5の成果を出すことができた。さらに、計算力学分野で顕著な業績及び研究を行った40才以下の研究者に与えられるThe JACM Young Investigator Awardをシンガポールにて受賞した。		
社会 貢献	0.10	県内外の企業との連携を密にし、地域社会の発展と地域への人材送出に資する。また、研究成果の社会への還元方法についても模索する。			0.10	沖縄県市町村自治会館において、「International Joint Symposium on Problematic Soils and Geoenvironment in Asia」と題した国際シンポジウムを開催し(国内外から87名の参加)、沖縄における地盤工学を国内外にアピールすることができた。		
管理 運営	0.10	研究推進委員の一人とし、学際的かつ高度な研究活動の推進に資する。			0.10	研究推進委員として、プロジェクトシートの作成、研究活性化に向けた取り組み(新規学内プロジェクトの推進など)に積極的に参加することができた。		
進路 指導	0.10	公務員や企業への就職、大学院への進学に関する最新情報を提供する。また、県内外の研究従事者との交流を深めることで、勤労観や職業観を育成する。			0.10	沖縄県内企業、国外機関、国際機関と連携を取りながら研究を実施し、公務員:1, 民間企業:1名の人材を輩出した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		有住 康則	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	学部科目:「構造力学I及び演習」、「線形代数学A」、「橋設計論」及び「卒業研究」等を担当し、JABEEの基準を満たす講義を行う。演習等科目では大学院前期学生をTAとして採用し、教育補助に活用する。各科目について授業改善資料Aを作成し、JABEE委員会で検討し、授業改善に努める。FD活動に積極的に参加する。大学院の講義を担当し、理工学研究科前期学生1名及び後期学生1名の研究指導を行う。		0.35	学部科目:「構造力学I及び演習」、「橋設計論」、「線形代数学A」及び「卒業研究」等を担当し、JABEEの基準を満たす講義を行った。講義内容等については、PDCAシステムにより授業改善資料Aを作成し、JABEE委員会等で検討を行った。演習等科目では大学院前期学生をTAとして採用し、教育補助に活用した。学部及び学科が開催したFD活動に積極的に参加した。理工学研究科前期学生1名及び後期学生1名の研究指導を行った。
研究	0.35	科学研究補助金基盤研究(C)「重度の腐食損傷を受けた鋼桁腹板のせん断耐力性能評価と機能回復に関する研究」を中心に研究開発を進め、その成果は土木学会論文集、鋼構造工学論文集等に投稿する。学会活動では土木学会「鋼構造委員会」及び「鋼構造委員会アルミニウム構造小委員会」に委員として積極的に参加する。		0.35	科学研究補助金基盤研究(C)「重度の腐食損傷を受けた鋼桁腹板のせん断耐力性能評価と機能回復に関する研究」(200万円)を中心に研究開発を進めた。国内外の学術論文集に2編採択さ、更に2編投稿中である。国際会議6編(共著者)、土木学会年次講演会に論文等を15編(共著者)投稿し発表を行った。土木学会「鋼構造委員会」、「鋼構造委員会アルミニウム構造小委員会」に委員として参加した。
社会貢献	0.10	国土交通省「社会資本整備審議会専門委員」、沖縄総合事務局「景観委員会」、「総合評価審査委員会」、沖縄県「公共工事入札契約適正化委員会」、那覇市「都市計画審議会」等に委員(会長を含む)として参加し、専門的立場で意見を述べ社会に貢献する。		0.10	国土交通省「社会資本整備審議会道路分科会沖縄地方小委員」、沖縄県「沖縄県伊良部大橋主幹路部設計施工委員会」、「沖縄都市モノレール技術検討委員会」、那覇市「那覇市都市計画審議会」に委員長として、また、沖縄総合事務局「総合評価審査委員会」、沖縄県「公共工事入札契約適正化委員会」等に委員として参加し、専門的立場で意見を述べ社会貢献活動を行った。
管理運営	0.10	工学部将来計画委員会等において委員として工学部委員会活動を積極的に進める。		0.05	工学部将来計画委員会委員を務めた。また、環境建設工学科土木コースの認証評価報告書の基準5を担当し、原稿作成を行った。
進路指導	0.10	土木コース4年次指導教員として学生の修学指導を行い、学生の進学指導、就職支援及び求人希望会社の対応等に積極的に取り組む。		0.15	土木コース4年次指導教員として4年次学生の修学指導を行い、4年次学生の進学指導及び就職支援を積極的に取り組んだ。就職支援業務の一環として多数の求人希望会社の対応等を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山田 義智	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部で「建築材料」、「環境材料学」、「線形代数学」の必修科目や、「数理情報処理」、「建築材料・構造実験」の選択科目を学生の理解が進むよう講義する。大学院では「建設材料学特論」で材料学の重要性を理解させる。卒論・修論では、建築材料学の研究の楽しさと建築において果たす役割を教える。修論生には学会発表や査読論文投稿を行うよう指導する。		0.30	学部講義アンケート結果は全て良好であった。大学院講義は、アル骨問題のある橋梁の見学も実施した。卒論・修論の学生にも目標通りの教育ができた。大学院生4名全員に国内学会での発表指導ができた。大学院生1名が建築学会大会で若手優秀発表を受賞した。大学院生2名は筆頭で査読付き論文掲載が決定した。
研究	0.30	飛来塩分の輸送量推定手法を用いた塩害環境評価法の確立、塩ビサイディング材のRC構造物の保護効果やフレッシュコンクリートのレオロジーについても着実に研究を進捗させる。これらの研究成果として査読付論文を投稿するほか、これらの研究により外部資金の獲得を目指す。		0.30	コンクリートのレオロジーに関しては査読付き論文3編が掲載決定され、現在1編を査読付き論文として投稿中である。コンクリートのレオロジーに関する論文でセメント協会論文賞を受賞した。飛来塩分の研究に関しては、現在1編を査読付き論文として投稿中である。外部資金は科研(基盤C)や寄付金を得た。
社会貢献	0.15	日本建築学会材料施工本委員会(建築学会では他委員1件あり)や土木学会等の学会活動や、擁壁製造委員、沖縄県建築審査会会長、その他の県内の各委員としてその責務をはたす。		0.15	建築学会材料施工本委員会(建築学会では他委員1件あり)や土木学会の委員会等の学会活動や、全国宅地擁壁技術協会調査委員、沖縄県建築審査会会長、沖縄県生コンクリート品質管理監査会委員、その他の県内の各種委員会に参加して活動を行い、その責務を果たした。
管理運営	0.15	全学および工学部の各種委員を務める。また、教授会や学科会議・コース会議には、積極的に出席して組織運営の一助とする。		0.15	全学の入学者選抜方法等検討委員会、工学部の施設・環境委員会には、出張等で不在でない限り積極的に出席した。建築プログラムのURGCC委員としての責務も果たした。教授会や学科会議・コース会議にも不在でない限り積極的に参加した。
進路指導	0.10	研究室配属の学部学生(4名)および大学院生(4名)の進路について、十分に把握・指導して有意義な学生生活を送れるよう助力する。また、建築コース2年次の指導教員としての責務を果たす。		0.10	研究室所属学生の進路について、ゼミの後などに相談し指導にあたった。指導した学生は、全員就職(内定)または進学(内定)を果たした。また、建築コース2年次の指導教員として、各種相談や指導を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		下里 哲弘	所 属		工学部 環境建設工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目「基礎力学」、「鋼構造工学」、「構造力学Ⅱ及び演習」、選択必修科目「設計演習Ⅰ」、「道路交通計画」を担当し、JABEEおよびURGCC方針に準じて、教育水準を満たす授業を行う。 ・授業評価アンケート、授業改善報告書の結果を活用した授業を行う。 			0.25	<ul style="list-style-type: none"> ・必修科目「基礎力学」、「鋼構造工学」、「構造力学Ⅱ及び演習」、選択必修科目「設計演習Ⅰ」、「道路交通計画」を担当し、JABEEおよびURGCC方針に準じて、教育水準を満たす授業を行った。 ・授業評価アンケート、授業改善報告書の結果を活用した授業を行った。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会、日本鋼構造協会等への査読論文投稿を行う。 ・国際会議等で研究発表を行う。 ・地域に貢献する研究活動(調査、講演等)を積極的に行う。 ・競争的外部資金を獲得し、社会で活用できる技術の研究を行う。 			0.35	<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会、日本鋼構造協会等への査読論文投稿を6遍行った。 ・国際会議(PSSC:シンガポール)で研究発表を行った。 ・地域に貢献する研究活動(調査、講演等)を積極的に行った。 ・競争的外部資金を新規に2件獲得した。(継続5件) 		
社会貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献として土木学会等の活動へ積極的に参画する。 ・社会および地域貢献として沖縄総合事務局、沖縄県などの委員会へ積極的に参画する。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献として土木学会の示方委員会の幹事長として活動した。 ・社会および地域貢献として沖縄総合事務局、沖縄県などの委員会(4件)に参画した。 		
管理運営	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部教育委員の活動を行う。 ・学科会議、土木コース会議等の諸運営活動を行う。 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部教育委員およびURGCC委員の活動を行った。 ・学科会議、土木コース会議等の諸運営活動を行う。 		
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院進学希望の学生に対する学習および進路指導を行う。 ・民間への就職希望学生支援を積極的に行う。 ・公務員希望学生の支援のため、試験準備の指導を行う。 			0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院進学希望の学生に対する学習および進路指導を行った。 ・民間への就職希望学生支援を積極的に行った。 ・公務員希望学生の支援のため、試験準備の指導を行った。 		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中田 幸造	所 属		工学部 環境建設工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	できるだけわかりやすく興味を持てるように講義する。講義時間外も随時質問を受け付け、学生の理解が進むように努力する。			0.30	例えば、力学ではTAを活用し、講義時間中に質問をたくさん受けるよう努力し、講義後も遠慮なく質問するよう指導することで理解が進むように努力した。他の講義においても、パワーポイントを使用するなどして視覚的にわかりやすく興味を持てるように講義した。従って、目標は達成できたと思う。		
研究	0.50	日本建築学会大会で口頭発表を行う。査読付き論文を投稿する。外部資金の獲得に努める。			0.50	学術研究助成基金助成金の若手研究BがH25年度も継続採択された。コンクリート工学年次大会2013(名古屋)で研究発表を行った。2013年度日本建築学会大会(札幌)で研究発表を行った。2014年3月に佐賀で研究発表を行った。よって、目的は達成できたと思う。		
社会貢献	0.00	社会貢献のための具体的な活動はないので、ここでの目標は教育および研究目標を達成することとする。			0.00	平成25年度から沖縄建築士事務所協会耐震診断判定委員会の耐震判定委員となり、判定委員会に参加した。		
管理運営	0.10	社会連携委員としての責務を果たす。			0.10	社会連携委員としての責務を果たした。		
進路指導	0.10	2年次指導教員の務めをしっかりと果たす。研究を行う課程において、勉強意欲や進学意欲が高まるように研究室4年次の質問に分かりやすく答える努力をする。			0.10	指導教員としての務めをしっかりと果たした。研究室4年次の質問には分かりやすく、時間のあるときに随時回答した。目標は達成できたと思う。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		富山 潤	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・土木コースの目標に照らした教育目標の設定 ・土木コースの定める授業改善マニュアルに基づく授業改善を行う。 ・学生からの意見を積極的に聴衆する。 ・教育補助者の有効活用, その資質の向上, FDへの参加 ・大学院の講義において機械学会の認定CAE技能講習会の認定を受ける 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・土木コースの目標に照らした教育目標に応じた講義や授業改善マニュアルに従った改善を行った。 ・授業評価アンケート等で学生からの意見を積極的に聴取した。 ・TAの利用, FDへの積極的な参加を行った。 ・大学院の講義において機械学会の認定CAE技能講習会の認定を受け, 講義を実施した。
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・査読付き論文の投稿, 学会での研究発表を行う。 ・科研: 基盤研究(C)へ取り組む。 ・所属部局以外との共同研究を行う。 ・外部資金の獲得を目指す(寄附金, 国土交通省研究助成など)。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・A論文2編が採択された。査読付き国際学会1編採択。その他発表論文を数編投稿した。 ・科研費: 基盤研究(C)が採択され, 現在研究に取り組んでいる。 ・競争的資金2件の研究を実施した。また, 奨学寄付金3件獲得した。
社会貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学協会の委員会活動を積極的に行う。 ・学協会以外の学外の審議会, 委員会等活動を積極的に行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・土木学会3種委員, 日本コンクリート工学会2委員に参画している。そのうち幹事長を務めている。 ・市町村の橋梁長寿命化修繕計画策定(5件), 沖縄県離島架橋100年耐久性検証プロジェクト, 土木学会西部支部沖縄地区幹事, 土木学会西部支部沖縄会幹事を務めている。 ・土木学会応用力学委員会主催の講演会を開催した。 ・沖縄県のアルカリ骨材反応に関する研究プロジェクトの委員長を務めることになった。
管理運営	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部社会連携委員を務める。 ・学科土木コース教育プログラム実施WGを務める。 ・工学部代議員を務める。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部社会連携委員会を務めた。 ・学科土木コース教育委員プログラム実施WGを務めた。 ・工学部代議員を務めた。
進路指導	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワーによる学生支援を行う。 ・卒論生, 修士学生の指導を十分行う。 ・土木コース1年次指導教員を務める。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究指導や修士論文の指導を行った。 ・オフィスアワーやその他学生支援を行った。 ・土木コース1年次指導教員を務めた。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		崎原 康平	所 属		工学部 環境建設工学科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	卒論・修論では、自らの研究を計画、実行、評価、改善ができるようゼミなどを積極的に行い、研究指導を実施する。実験では、建築材料に関する理論と試験を通して、さらに理解を深めてもらえるよう工夫する。		0.20	後期に1講義(建築構造材料実験)を担当した。本講義では、学生が安全かつ円滑な実験が進められるよう指導するとともに、実験を通して学生がフレッシュコンクリートを中心に建築材料に関する知識の習得できるよう尽力した。理論的な内容を補足説明する点は不足していたため、来年度では改善していきたい。
研究	0.40	実験・理論・シミュレーションを統合した施工設計のための合理的なフレッシュコンクリート流動予測手法の確立を目指す。特に、粒子法を用いた流動シミュレーション技術の研究開発を行う。		0.35	査読論文については、レオロジーに立脚したフレッシュコンクリート関連を2編、粒子法を用いた流動シミュレーションの研究開発関連を1編投稿し掲載された(掲載決定含む)。また上記関連の発表論文を8編投稿した。次年度は実験にも注力し、合理的なフレッシュコンクリート流動予測手法の確立に向け尽力する。
社会貢献	0.10	日本建築学会九州支部材料施工委員会に参加し、材料施工に関する調査、研究、発表などを行い、建築材料施工分野の先端的な研究技術開発に寄与する。		0.10	今年度より日本建築学会九州支部材料・施工委員会の委員を務め、建築材料分野の研究開発の推進活動を行った。また、土木学会コンクリート委員会コンクリート施工性能照査・検査システム研究小委員会にも参画し、新しいコンシステンシー試験(試案)について意見交換を行い、報告書の一部執筆を担当した。
管理運営	0.10	広報・図書委員会活動を通して、学部学科の教育理念やカリキュラム、実社会とのかかわりについて、入学を希望する学生や社会へ発信する。		0.20	今年度は、「受験生のための琉球大学工学部案内」、「研究最前線」の作成など入学を希望する学生や社会に向けて積極的に配信活動を行った。また、附属図書館の雑誌、データベース、電子ジャーナルの削減について学科内で意見を調整・集約し、工学部広報委員会で当学科の意向を適切に伝えることができた。
進路指導	0.20	学生の希望や資質にあわせて、適切な進学および就職の準備活動を支援・指導を行う。		0.15	前期と後期の講義登録期間中に1回ずつ年次懇談会を開催し、学習や進学および就職に関する指導を行った。また、カンニング等の不正行為禁止の周知徹底に努めた。指導の際には、学生が相談しやすい環境づくりを心掛けた。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	